



正面から見て

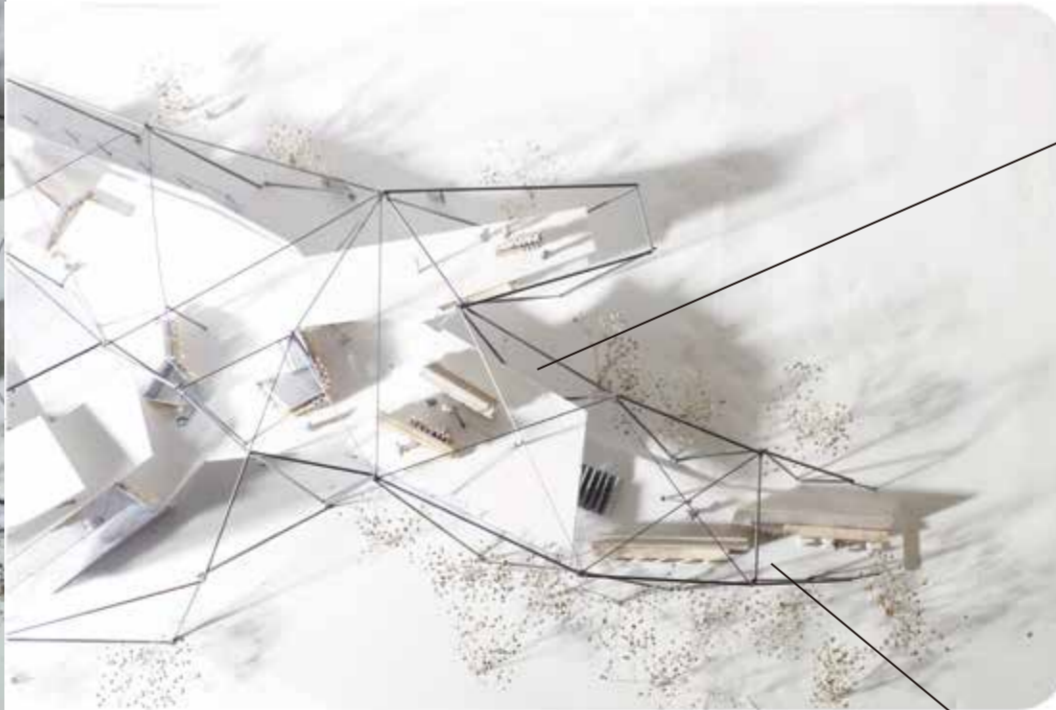
川沿いに対して長く、前面道路側からは細い
この建築物は無数のトラスのプレースが生え
強い印象を与える
街の公共空間としての存在感を見せる
前面道路から開けた広場が人を誘導させる
1階部分のシーケンスが奥へと引き込み
川軸と平行に人を誘い込ませる

川沿いから見て

川沿いからパノラマな景色を作り出す
前面道路側から川沿いを歩いて行けば市民が安らぐ広場が見える
もう少し進むとピロティ空間の向こうにカフェが見える
その上を図書空間が水平に連続している
もっと行くとラウンジの向こうに中庭が見える
上からはオフィスのラボ空間を眺めることができる
また行くと食堂が見え、ピロティ空間の向こうには子供達が遊ぶ広場が見える
そうして反対側の前面道路まで繋がる

ランドマークとして

閉じられた川沿い、街中から見えない富士、
公開空地の無い田舎町
そんな環境を変える一手を目指した空間
段々にした川沿いと広場を連結させ
富士の稜線を模倣した屋根を流し込むことで
この街のランドマークを目指した



外から

1階部分からはピロティとなる空間から
地面レベルで好きに移動することができる
ガラス張りの空間が通過性と視認性、連続性を
強くさせ中での活動を感じさせてくれる



カフェスペース

開放的な天井高の中で
おしゃべりをする
正面には広場が広がっている



2階図書空間

図書館とワークプレイスの
混合とした空間は
本を探しながら人の活動を
感じられる



中庭

図書館からは中庭を見れ
その先のラボ空間を視認
することで活動を感じる
1階ではラウンジを繋ぐ
役割を担う



学習スペース

本棚の裏には勉強できる
コモンスペースがあり
落ち着いた場を提供する
公園側とつながり一休みの
場でもある

